
BとAの世界戦争。核弾頭は国会議事堂に置いてきた

妄想少年

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

BとAの世界戦争。核弾頭は国会議事堂に置いてきた

【Nコード】

N2767F

【作者名】

妄想少年

【あらすじ】

先に謝っておきます。でも今日の雰囲気は嫌です。後悔はしてませんが、苦惱もしてません。面白く書ければ此所はそれで良かったですかね。

一度顔を上げてみる。
否応無しに殴られた。

二度顔を上げてみる。
頭が悪いと罵られた。

三度顔を上げてみる。
誰もこちらを見て居ない事に気が付いた。

『BとAの世界戦争。核弾頭は国会議事堂に置いてきた』

僕の名前はB。

名前という固有名詞は無いのだけれど、何故かBと呼ばれて居る。そして僕の右手の薬指と中指を力強く掴んでいるのがA。どこから一緒に居たのかは判らないけれどもいつの間にか僕の右手を掴んで離れないように付いて来る。

周りは荒野と崩れた残骸しか無くて、日本が敗戦した時からこのままだ。

つまりは日本は負けたのだ。
どこの国なのかどうして負けたのかは判らないけれど負けてしまつて今や人間は名前と職を失つておまけに飢餓だけがはびこっている。

つまりは今やエルム街も真っ青な状況。
それでもAは何とかして生きているのが偉い。あまり感情は表に

表さないけれど。

そんなこんなでBこと僕とAは食べ物を探す為に探索中である。昔の偉い人は言いました。

パンが無ければケーキを食べればいいと。

マリーアントワネットの言葉ですね。

旨い事言ったもんだ。

つまる所、飯が無ければ盗めばいいんだと言う事。

そうやって生きて行けるのならば万々歳。

両手に花の状態。

嬉し恥かし夏休みな状態だね。

意味判らんけど。

「B。お腹減った」

Aが喋れる。ほんと本能的にしか喋らない子供だ。

僕を見習えAよ。

僕は武士は食われて爪楊枝っていう意味の判らない諺を沢山覚えてるんだぞ。

それでも僕は昔、二+二は五って答えてた人間だぞ？ 分かるか？ 判らないか。

「B。お腹減った」

壊れたラジオというかCDというかレコードというか同じ事しか言わない子供だ。

レコードなんて何十年前の機械だよ！

ウチらの時代はもうCDだよ！

それなのに壊れたレコードみたいだとかって比喻は何なの？ お前聞いた事あるのかよ。

つかレコードで、今時レコードで……これだから模範囚みたいな作家ばかりで困る。

たまには自分で比喻作れよ。俗語とか作れよ！

俺なら今作ってやるよ！

檻神ほら作った！

ごめ西尾のパクリだったわ。

「B？ ねえB？」

「ん？ A少しだけ後少しだけ我慢してくれるかな？ 大丈夫だよ。僕は世界最強と言われている赤い人とかオレンジ頭とか『バンド結成。ただし全員ドラム』とか訳の判らないキャラじゃ無いから大丈夫だよ？」

「……………うん」

あぶねえあぶねえ。

時限爆弾設置。ただしタイマーかけわすれみたいになっ！

とかって言う状況になりそうだったじゃないか。

……………戯言だけど。

「言っちゃった！」

「……………何を？」

ともかくこんな戯言シリーズ全編通して今からクビツリハイスクールのなサイコロジカルはする気は無いんだ。

そもそもテンション上がってきたあ！ みたいな状態で作者が作品書こうとする事が悪い。

【いいんじゃない？ たまには】

「お前それタブー中のタブーじゃねえか！ 後書きか前書きで語れや！ 馬鹿野郎」

「B？」

「ああすまん。ちよいと腹空き過ぎて第七世界の通路開けてしまいそうになった」

そうだよ。真面目に真面目にこの話は名前の無い男と小さな女の子が世界に喧嘩売って、その存在価値はどうなの？ っていう真面目な小説を書く筈だったのに何故か訳の分からんコメディイなんて描いちゃってるんだ。

そもそも読者ありきで投稿小説はあるのに、それすら矛盾して馬

鹿やるとか完璧オナニーじゃねえか。

つか今までのなんだが良く分からない作品群から飛び抜けてこの話は異端じゃね？

嘘だけど。

「みーくんそれは流石に駄目だと思っよ？」

「まーちゃん僕は自動的なんだよ」

「それなら私はイマジネータになる」

「それはいい考えだ。なら僕は警察官だ！」

101

生きるとか死ぬとかパクリとか盗みとか殺人とか自殺とかSEXだとかリスカとか首吊りとか強姦とか強盗とか薬物とか薬とかやつたもん勝ちだろ。

小説家なんてそんなもんだ。

何千何万何億とある作品の中の一つ一つが似ていない部分があるとても？

そんな物に嫉妬する方がおかしい。

類似しない方がおかしいし、それを形容しない頭も腐ってる。

何に伴い何を考え何をするかで小説家というのは価値が決まると私は考える。

それなのに……どうも今日のなるうはおかしくないかい？

どこもかしこもあの話題ばかりだ。

見ていてあまり好ましくは無い。

書き手として何を考え、書き手として何を書けばいいのか矛盾し

ていないかい？

なんだろうね。今日のこの嫌な雰囲気は……

こうしてこういう事を作品じゃない作品を投稿している私も同罪
かも知れないけれど。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2767f/>

BとAの世界戦争。核弾頭は国会議事堂に置いてきた

2010年10月10日08時07分発行